

アナタも発掘してみませんか？



埋文やまなし

山梨県埋蔵文化財センターでは、遺跡の発掘調査を行う発掘作業員を募集しています。
発掘調査は屋外でスコップなどを使って土を掘ったり、土を運んだりする力作業や土器などの出土品を丁寧に掘り出す繊細な作業があります。また、遺跡の状況を図面に記録するといった作業も主な仕事です。
土や汗で汚れたりすることも多い仕事ですが、自らの手で土器や石器を掘り出した時の感激は何物にも代えがたいものです。

興味のある方や応募を希望される方はお問い合わせください
☎ 055-266-3016(平日9時～17時)

就業場所 山梨県内
勤務時間 9時から16時まで(12時から13時は休憩時間)
週5日勤務(土・日・祝日は休み)
給与日額 5,049円～6,007円
※学歴・職歴により決定します。※交通費支給
●応募にあたっては、履歴書等の書類が必要となります。
書類提出後、面接による選考を行い、任用を決定します。
ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

初心者歓迎！
お気軽にお問い合わせください

コロナに気を付けながらやりました

文化財活用イベント

今年度は山梨県立図書館(甲府市)とラザウォーク甲斐双葉店(甲斐市)で山梨県の縄文土器の人気投票や日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のPR展示などを実施しました。
また山梨県立リニア見学センター(都留市)では、上記のイベントのほかに、リニア中央新幹線関連の開発に先立って発掘調査が行われた遺跡の紹介と出土品を展示しました。

マチナカ博物館



ラザウォーク甲斐双葉では買い物にいらした方々にも縄文の魅力伝える良い機会となりました。



リニア速いな速いなリニア



古墳にちなんだクイズは、親御さんはもちろんお子さんにも人気で、古墳に大コーンなイベントになりました。

武人くんは子どもたちに大人気！



山梨県埋蔵文化財センターと山梨県立考古博物館のある甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園で園内の古墳めぐりツアーを開催しました。古墳にちなんだクイズを出題するなど、遊んで学べるイベントになりました。

古墳でツアー 古墳ふーぎ発見

コウちゃん 古墳の刀



悔しくても泣くんじゃねえ

※稲荷塚古墳出土の大刀は考古博物館に展示しているぞ！



やまなしを掘る

特集 発掘調査を支える人々

今回の取材を通してみなさんの暖かい人柄や、発掘調査への思いなど、ひしひしと伝わりこの紙面だけでは伝えきれないほどです。
少し恥ずかしい？写真のポーズにも対応いただきありがとうございます。
今回の特集が調査のやりがいの一つにでもなれば幸いです。(き)



山梨県埋蔵文化財センター
ホームページQRコード

埋文やまなし 第64号
発行 山梨県埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
☎ 055-266-3016
印刷 株式会社峡南堂印刷所



今回紹介する三つの遺跡は、いずれも低湿地に営まれた遺跡で、河川のはん濫の痕跡が見つかっています。特に福部遺跡と田通遺跡のある甲府盆地南部はこれまで遺跡の少ない地域と考えられていました。今回地下深くから遺跡が発見され、甲府盆地の歴史を今後考えるためにとっても大きな意義があります。

福部遺跡 Fukube Site

遺跡は山梨県小瀬スポーツ公園の近くにあり、今の地面より約5m下から室町時代の畑の畝や炭をおこした跡といった遺構、北宋銭、かわらけ、なかでも当時の高級品である青磁や白磁が発掘されました。周辺には中世の土豪屋敷と伝わる場所が複数あり、青磁や白磁が出土していることから有力者との関係性がうかがえます。



発掘された室町時代の畑の畝



出土した中世の青磁

田通遺跡 Tadoshi Site

山梨県小瀬スポーツ公園の南側、笛吹川と濁川の合流地点の西側にあり、昔から川の氾濫が多い地域にあります。この遺跡では、畦状の高まりの上で畝がいくつも作られている遺構が発見されました。



発掘された中世以降の畑の畝



発掘調査の様子

時期は中世以降で、周辺に中世の豪族の屋敷跡が点在していることから、氾濫が激しい川の近くでもたくましく村落が営まれた様子が想像されます。

上三條河原遺跡 Kamisanjo gawara Site

中央市の JR 身延線小井川駅のすぐ西側で令和2年に新たに発見された遺跡です。遺跡は、水が湧く低湿地であり、ここから1,800点を超える古墳時代後期・終末期(6世紀~7世紀)の土器片や同時代のカマドの跡などが見つかりました。



古墳時代後期・終末期の土器が出土した様子



出土した土器を図面に描き込む

発掘する人どんな人?

発掘調査をしている人ってどんな人? そんな素朴な疑問にお答えするべく今年度の調査に参加いただいた「作業員さん」を少しだけご紹介いたします!

発掘調査は生きがいです!

M.Nさん



日焼け防止のための帽子がgood!
地面についても服は汚れない! ひざサポーター

WORK

移植ゴテで遺構をキレイに検出中! これぞ匠の技!



現場に光るベテランの技

S.Hさん



花柄のフェイスマスクでCuteにコロナと日焼け対策!

野球部だった息子さんのウェア。洗濯してもすぐ乾く

WORK

服が汚れないようにする中腰の姿勢。慣れるまで大変なんです (>_<)



あだ名は「班長」

S.Aさん



定年退職後に働きたいと思い、発掘調査に参加してから早7年。若者にはまだまだ負けたくないという風格が漂う。頼もしい!

「マイ道具」発掘調査にどの参加者も専用の道具を揃える傾向に。



丁寧な仕事が魅力!

H.Kさん



「ジョレン」という地面を平らにする道具。ジョレンではない。Imagineしよう。

「ポスト」に作業員の募集チラシが入っていて、応募しました! そう話すH.Kさんは今年が初めての発掘調査。発掘調査の仕事は、はじめは難しかったけど、教えてもらううちに、楽しくなってきました。時間も9時から16時前までと決まっているので、一日の予定が立てやすくていいお仕事とのこと。

これからの発掘を担う若人

R.Tさん



フェイスシールド付のヘルメットでコロナ対策も嬉しい感じ

野暮ったい作業着は嫌だ! 黒で統一されたシュッとした格好がオシャレ

今年が初めての発掘調査。もともと遺跡に興味があったので、応募されたとのこと。もっと上手に掘れるようになりたいと向上心に溢れています。普段はブドウ農家とミュージックビデオ製作のお仕事をされている。

未来の考古学者

T.Hさん



大学の先輩からプレゼントされた愛用の移植ゴテがお気に入り!

灰色の作業着がとってもお似合い!

WORK

土の質感や色などを見きわめて土層をかき分ける「分層」という作業。遺跡の成り立ちを考えるためにとても大切な仕事です。



ある日の発掘日誌

令和2年〇×月△日 天気:晴れ

- 1 9時00分 朝礼。今日は晴れていて絶好の発掘日和。
2 9時20分 昨日に引き続き、発掘調査を進める。遺構は掘りすぎると壊れてしまうので慎重に行う。土器の破片がちらほら見つかる。
3 10時15分 掘った土を捨てる係になる。一輪車は「ネコ」と呼ぶらしい。かわいい。
12時00分 お昼休み。今日のお弁当は、昨日の夕飯のほうとう。二日目のほうとうは味が染みて美味。
4 13時00分 午後の作業開始。発掘が終わった場所の土層を二人で記録する。
5 15時00分 休憩。コロナ対策で外で一息。
6 15時25分 大きい土器が出土!みんなでじっくり観察する。
16時00分 今日の調査は終了!お疲れさま。



本日使用した 道具の紹介
両刃鎌 (三角ホー) 手ポウキ 竹ペラ まがり 移植ゴテ
遺構を見つけたときや土層をキレイにするときなど発掘調査によく使う道具。移植ゴテより地面を削りやすいのが特徴。関西では「ガリ」と呼ばれる。
遺物が出てきたら移植ゴテから持ち替える。竹なので遺物を傷めず、細いので繊細な作業にばっちり!
掘りあがった土をかき集めるときに使う。移植ゴテを折り曲げて作る。
鋭利にしたりする。磨る道具)で研いで